

debbugs の内部構造
debbugs 概要
データ形式
コード形式
そして何がおきたか

55000 以上の現在アクティブなバグ報告
231000 のアーカイブされたバグ報告
毎週 1000 以上の新規のバグ報告
リアルタイムでバグ報告をウェブページにどんどん反映

インタフェース： 開発者がメールで操作できるようになっており，誰でもウェブで閲覧できるようになっている．

パッケージベース： バグ報告をパッケージ別に高速に管理する必要がある

スケーラビリティ： 大量のバグ報告に対応できる必要がある

即時性： 現在のバグの状態をすぐに報告してくれる必要があり，バグの状態が変更されたらすぐに反映される必要がある

安定性： 継続して動作する必要がある．新規の機能がどんどん追加されたとしても．

公開： 議論の内容に Debian コミュニティー全体として参加できるように，永続的な公開記録として保存される必要がある．

/org/bugs.debian.org/spool

incoming/

db-h/

archive/

index.db – index.db.realtime へのシンボリックリンク

index.archive – index.archive.realtime へのシンボリックリンク

nextnumber

T receive によって受けとられた

S SPAM 確認待ち

R SPAM 確認中

I SPAM チェック通った

G service か process スクリプトを通った

P process 中

B: 通常のバグ報告 . submit@ 1234@
M: -maintonly メーリングリストに投げない
Q: BTS に登録しない . -quiet
F: アップストリームにフォワード -forwarded
D: バグ終了 -done
U: サブmitterにメール -submitter
R: ユーザのリクエスト用インタフェース request@
C: デベロッパーの制御用インタフェース control@

Status

バグ報告者のメールアドレス

時間 (秒)

サブジェクト

元のメールのメッセージ ID

バグがアサインされているパッケージ

タグ

close した人のメールアドレス

上流のメールアドレスか URL(forward されたばあい)

マージされているバグ番号

severity

Summary

Format-Version: このファイル形式のバージョン

Submitter: バグ報告者のメールアドレス

Date: 時間 (秒)

Subject: サブジェクト

Message-ID: 元のメールのメッセージ ID

Package: バグがアサインされているパッケージ

Tags: タグ

Done: close した人のメールアドレス

Forwarded-To: 上流のメールアドレスか URL(forward されたばあい)

Merged-With: マージされているバグ番号

Severity: severity

Owner: バグの所有者

kill-init: まだ一行も処理していません

incoming-recv: 07: あとに go がくる , Received:行

autocheck: 01: X-Debian-Bugs-...: までの無視されている行 ,
autowait が次に来る

html: 06: 生で表示すべき HTML

recips: 02: メールの受取人 , 04 で分割されている

go: 05: メールの文書

go-nox: X: メールの文書 , X ではじまる行

kill-end: 03: メッセージの終り .

autowait: go-nox があとにくる , 空行まで無視されるその他
の情報 .

パッケージ

バグ番号

時間

ステータス

メールアドレス

severity

例 : pbuilder 317998 1121196782 open [Junichi Uekawa
jdancer@netfort.gr.jp] normal

設定ファイルは全て/etc/debugs にあります .

メールの処理部分

errorlib: ライブラリ

receive: MTA からメールを受信する

spamscan: 受信メールを SPAM チェックする

processall: process と service にメールを分配する

process: バグメールを処理する

service: control@ と report@ メールを処理

expire: close されてから 28 日過ぎたバグをエキスパイア処理する

rebuild: index ファイルをリビルド

15 分に一回 cron で動作

ウェブインタフェース

bugreport.cgi: バグレポートを一つ表示

pkgreport.cgi: パッケージやサブミッタなどでサマリを作成する

pkgindex.cgi: パッケージや severity に対して数を表示

common.pl: ライブラリとして利用

ソースは CVS

merkel.debian.org の /org/bugs.debian.org に複製がある

close バグ番号 バージョン

reassign バグ番号 パッケージ バージョン

found バグ番号 バージョン

'Source-Version: バグ番号' タグが追加

<http://bugs.debian.org/cgi-bin/pkgreport.cgi?pkg=cowdancer>

<http://bugs.debian.org/cgi-bin/pkgreport.cgi?pkg=cowdancer>

Summary ファイルにも , Found-In: cowdancer/0.4, Fixed-In:
cowdancer/0.5

user aj@azure.humbug.org.au

usertag 18733 + good-reasons-to-run-for-dpl

usertag 18733 + still-cant-believe-it-finally-got-fixed

usertag 62529 + your-days-are-numbered

<http://bugs.debian.org/cgi-bin/pkgreport.cgi?pkg=dlsysutils>

<http://bugs.debian.org/cgi-bin/pkgreport.cgi?tag=ignore>

バグ番号-subscribe@bugs.debian.org にメールを出す

block 保留中のバグ番号 by 原因のバグ番号
unblock 保留中のバグ番号 by 原因のバグ番号

`http://bugs.debian.org/cgi-bin/pkgreport.cgi?maint=danc`

`http://bugs.debian.org/cgi-bin/pkgreport.cgi?maint=danc`